

-合同若手シンポジウム-[スクラップビルド][脳構築の時計と場][マルチスケール脳]

に参加して

脳病態制御分野 D2 小尾紀翔

今回私は、12月12日から3日間に渡って開催された次世代脳プロジェクト・冬のシンポジウムに参加した。ここでは、その最終日14日に開かれた、新学術3領域[スクラップビルド][脳構築の時計と場][マルチスケール脳]の合同若手シンポジウムについての感想を述べたいと思う。

シンポジウムの流れとしては、各領域の若手研究者を中心とした口頭発表とポスターセッションを組み合わせたものであったが、3領域合同で開催することによる強みというべきか、各々の新学術領域の特徴が押し出された発表を拝聴することができ、若輩者の私としては新鮮かつ、非常に勉強になった。また、口頭発表の間に行われたポスターセッションでは40近い演題が出され、1時間という短い時間でありながら、活発に議論を交わすことができた。

このシンポジウムで印象的であったのは、表題にもある通り、比較的年齢の近い方が発表されていたことである。中には引きこまれるようなプレゼンテーション（もちろん内容も面白い）をされる方もいて、率直に言うと、尊敬と言いきれぬ悔しさが無い交ぜになったような気持ちになり、自分も見ているだけでなく、その場に立ってみたいと強く思った。これからも努力を重ね、面白い研究をし、それを土台にした聴衆を惹きつ

けるようなプレゼンテーションを出来るよう精進したい。そして、今後もこのような3
領域の合同シンポジウムに積極的に参加し、自らも発表したいと思う。